

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が1,346例(男性661例(10歳代94例, 20歳代147例, 30歳代102例, 40歳代120例, 50歳代77例, 60歳代28例, 70歳代28例, 80歳代12例, 90歳代2例, 年齢非公開51例), 女性593例(10歳代75例, 20歳代120例, 30歳代88例, 40歳代110例, 50歳代62例, 60歳代23例, 70歳代31例, 80歳代20例, 90歳代8例, 年齢非公開56例), 性別及び年齢非公開92例)ありました。本年の累積報告数は19,775例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(10歳未満男性)あり, 本年の累積報告数は29例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が3例(70歳代男性, 80歳代男性及び70歳代女性)(第35週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は30例となりました。
- ・ **RSウイルス感染症**の定点当たり報告数は, 京都市が0.26(11例), 全国が1.47で, いずれも過去5年平均値を下回っており, 減少傾向が続いています。
- ・ **ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は京都市が0.63(27例), 全国が0.51でともに4週連続増加しています。京都市では過去5年平均値とほぼ同じ値で流行とは言えないものの, 増加傾向にあり, 今後の動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では, 結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところであり, 結核予防週間にあたり, 2020年の結核の状況についてまとめました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 1例(肺結核 なし, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 なし)
【1月以降の累積報告数 172例(肺結核 59例, その他結核 50例, 潜在性結核感染者 63例)うち喀痰塗抹陽性 26例】
- ・ **新型コロナウイルス感染症 1,346例**【1月以降の累積報告数19,775例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 29例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 30例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

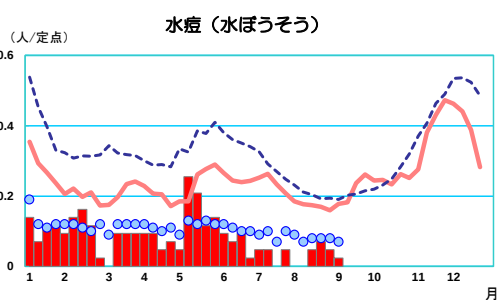
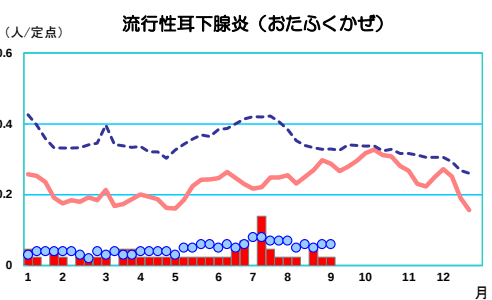
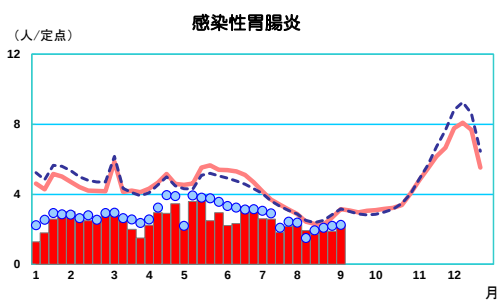
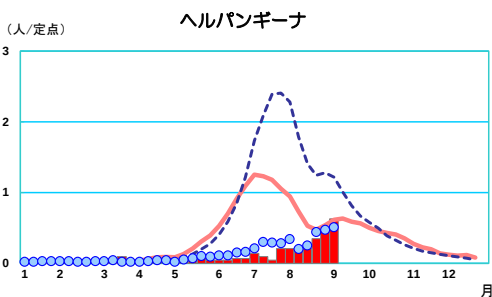
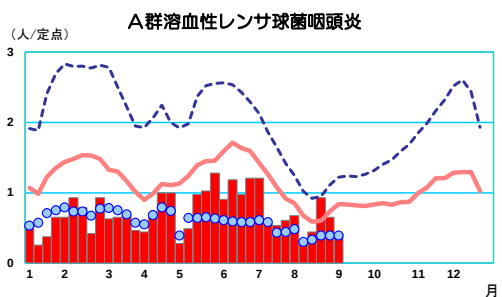
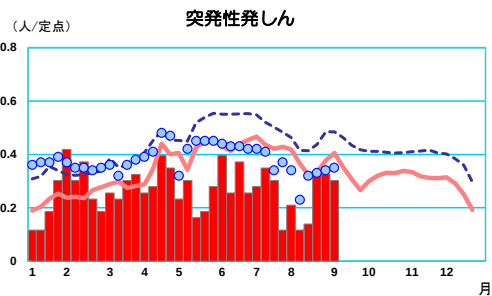
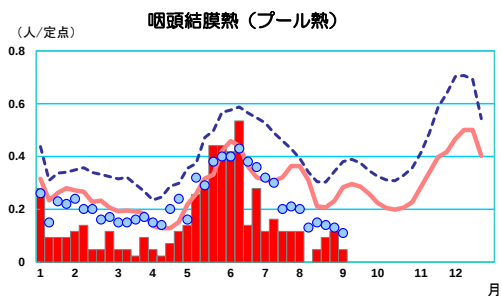
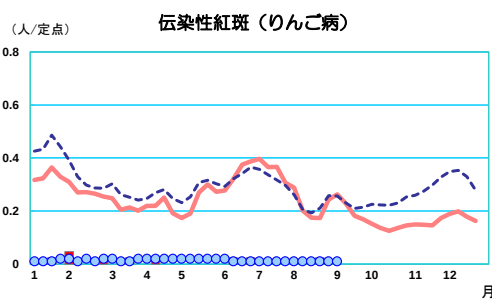
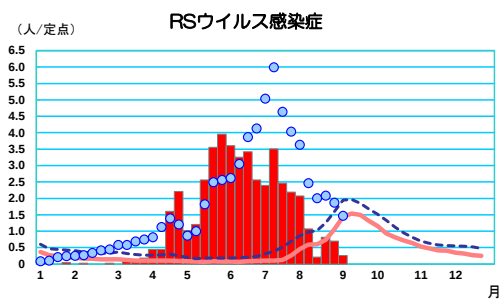
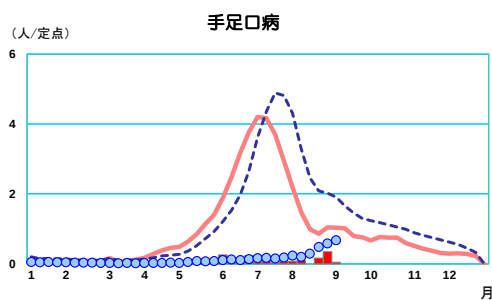
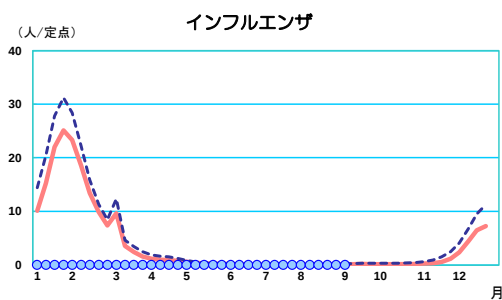
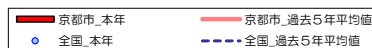
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2. 23	96
	② ヘルパンギーナ	0. 63	27
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 42	18
	④ 突発性発しん	0. 30	13
	⑤ RSウイルス感染症	0. 26	11
眼科	流行性角結膜炎	0. 00	0

【次ページ以降の主な内容】

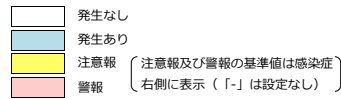
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <結核>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年9月15日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

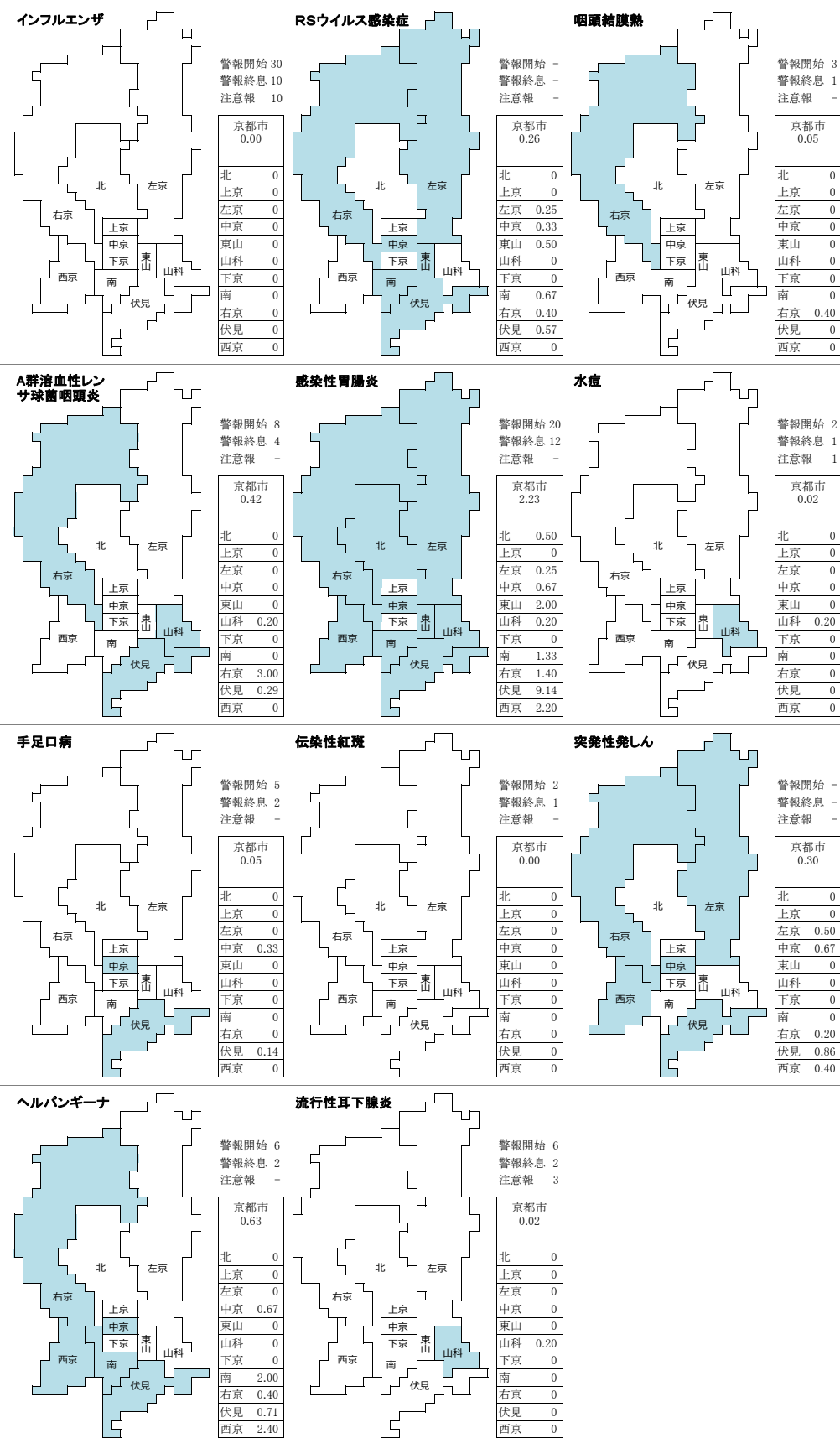
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第36週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第36週(9月6日～9月12日)トピックス: <結核>

毎年9月24日～30日は結核予防週間です。京都市では、結核予防に関する普及活動に日々取り組んでいるところであり、結核予防週間にあたり、2020年の結核の状況についてまとめました。

本市の過去10年間の結核新登録患者は、多少の増減はあるものの、おおむね減少傾向にあります。2020年は173人で、2019年(221人)と比べ48人減少しました。罹患率(人口10万対)は11.8で、2019年の15.1から3.3ポイント減少しましたが、依然として全国の10.1と比較して高い値を示しています。また、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率も4.6と、前年の5.8から減少したものの、全国の3.6と比較すると高い値となっています(表1及び図1)。

京都市では2018年に第三次京都市結核対策基本指針を策定し、2022年までに罹患率12.0以下(2013年策定第二次基本方針では15.0以下)、肺結核喀痰塗抹陽性罹患率4.5以下(同6.5以下)に減少させることを目標としています(図1)。2020年は罹患率について達成しました。肺結核喀痰塗抹陽性罹患率についても達成に向けて、普及啓発(結核検診の受診及び早期受診勧奨)など、更なる罹患率低下に取り組んでいます。

京都市の新登録患者数を年齢階級別にみると、80歳以上が45%でおおよそ半数を占めています。60歳代の10%と70歳代の24%を合わせると、60歳以上で約8割となり、比較的高い年齢層が大きな割合を占めています(図2)。

結核は、患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を他の人が吸い込むことで感染します。このため、発見や診断が遅れると、家族や身近な人へ感染させてしまうかもしれません。症状がなくても年1回は検診を受けるほか、2週間以上咳や痰(たん)、微熱が続くようなら早めに受診しましょう。

京都市では、区役所・支所で無料の結核検診を実施しています。対象は40歳以上の市民で、事前予約制です(2021年4月から対象年齢が変更になり、予約も必要になりました)。65歳以上の方は、年1回の結核検診の受診が感染症法により義務付けられています。早期発見のため、必ず検査を受けましょう。

○京都市情報館ホームページ「結核検診について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000121872.html>

表1 京都市及び全国の結核新登録患者数

区分	2019年	2020年	全国(2020年)*
新登録患者数(人)	221	173	12,725
罹患率(人口10万対)	15.1	11.8	10.1
肺結核喀痰塗抹陽性患者数(人)	85	68	4,606
新登録患者に占める割合(%)	38.5	39.3	36.2
罹患率(人口10万対)	5.8	4.6	3.6

*全国の数値は2021年6月16日現在の厚生労働省年報集計結果による

図1 過去10年間の結核罹患率と肺結核喀痰塗抹陽性罹患率の推移

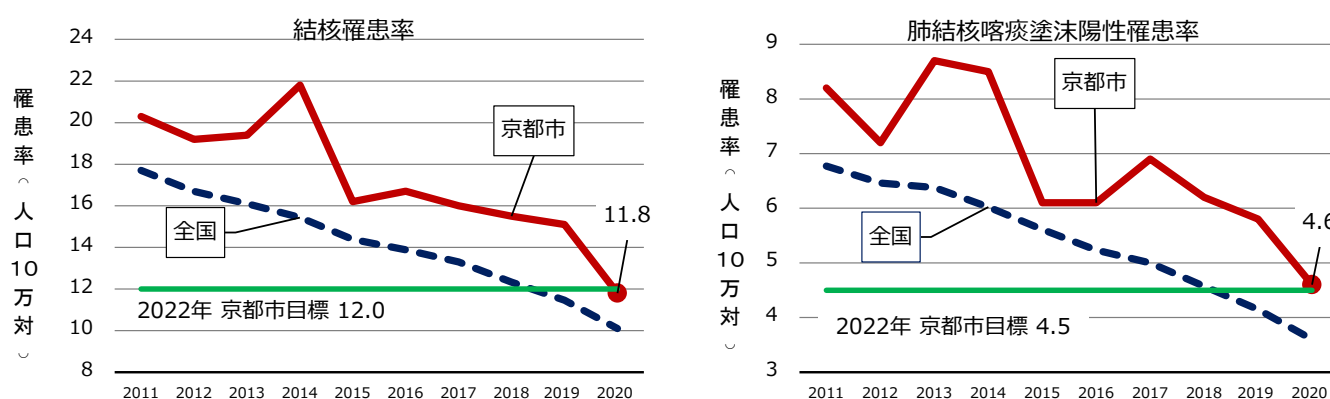
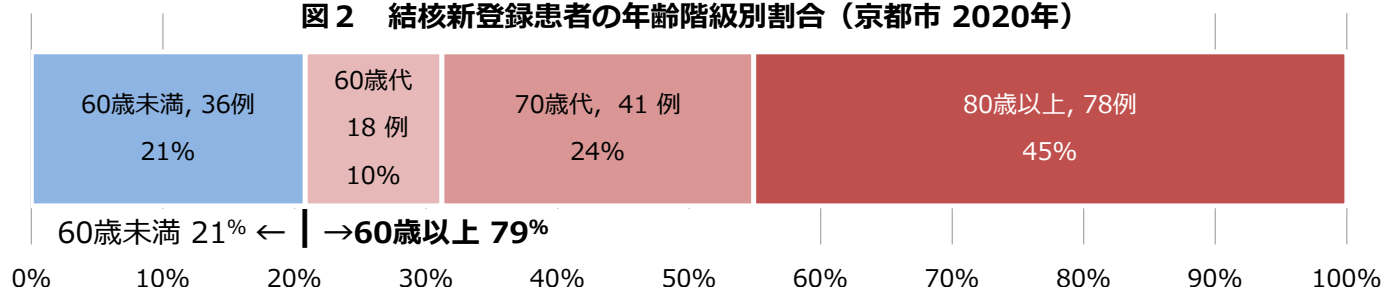


図2 結核新登録患者の年齢階級別割合(京都市 2020年)



T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第36週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年9月6日～2021年9月12日

データ入手日:2021年9月15日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	11	2	－	3	2	2	－	1	1	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		18	－	－	3	4	2	2	－	1	1	2	1	－	1	1						
感染性胃腸炎		96	1	6	22	10	8	8	6	4	5	4	2	13	3	4						
水 痘		1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		13	－	7	3	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		27	－	1	9	6	5	3	2	1	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	0.26	0.05	－	0.07	0.05	0.05	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.05	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.42	－	－	0.07	0.09	0.05	0.05	－	0.02	0.02	0.05	0.02	－	0.02	0.02						
感染性胃腸炎		2.23	0.02	0.14	0.51	0.23	0.19	0.19	0.14	0.09	0.12	0.09	0.05	0.30	0.07	0.09						
水 痘		0.02	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.05	－	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.30	－	0.16	0.07	0.05	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.63	－	0.02	0.21	0.14	0.12	0.07	0.05	0.02	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第36週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年9月15日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		89	46	9	35	30	11
咽 頭 結 膜 熱		5	－	2	4	5	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		29	12	19	40	28	18
感染性胃腸炎		98	83	74	91	81	96
水 痘		－	－	2	3	2	1
手 足 口 病		3	4	－	7	15	2
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	1	－	－
突発性発しん		9	5	6	14	14	13
ヘルパンギーナ		9	8	9	15	21	27
流行性耳下腺炎		1	1	－	2	1	1
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		2	1	1	1	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		245	160	122	213	197	171

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		2.07	1.07	0.21	0.81	0.70	0.26
咽 頭 結 膜 熱		0.12	－	0.05	0.09	0.12	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	0.28	0.44	0.93	0.65	0.42
感染性胃腸炎		2.28	1.93	1.72	2.12	1.88	2.23
水 痘		－	－	0.05	0.07	0.05	0.02
手 足 口 病		0.07	0.09	－	0.16	0.35	0.05
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	0.02	－	－
突発性発しん		0.21	0.12	0.14	0.33	0.33	0.30
ヘルパンギーナ		0.21	0.19	0.21	0.35	0.49	0.63
流行性耳下腺炎		0.02	0.02	－	0.05	0.02	0.02
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.20	0.10	0.10	0.10	－	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		5.85	3.80	2.91	5.03	4.58	3.98

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。